

周南市・京都大学フィールド科学教育研究センター

連携公開講座

平成28年10月15日(土)

～実習場所 徳山試験地・西緑地～



平成24年度に締結した周南市と京都大学フィールド科学教育研究センターとの連携協定に基づく事業の一つとして、公開講座が行われました。この講座は、実際の現場で自然や環境の変化を体験することによって、森・里・海の連環を学ぶことを目的としています。

今回は、京都大学フィールド科学教育研究センター徳山試験地と西緑地を見学しました。24名の参加者の皆さんは、爽やかな秋晴れの空の下、豊かな自然とのふれあいを楽しみました。徳山試験地では、原皮師の高度な技術を作業現場の側で見学し、道具や作業等についての詳しい解説を受け、伝統的な檜皮採取について学習することができました。



徳山試験地の「ふるさと文化財の森」で檜皮採取実演



講師の先生と参加者のみなさんで記念撮影♪



西緑地は緑の案内人さんが解説をされました

